

LOD

ロッド / metal artists



アトリエを支える、6人の個性と友情

メタルを素材にアクセサリーやオブジェを手がけるロッドのアトリエ・ショップは、キングスホルメン島にあります。赤いドアを開けると、カウンターの向こうにある作業台で、ロッドのメンバーが作業していました。ロッドでは、もともと友だち同士だったトビアスとエリック、そしてアートスクール、コンストラファックで知りあったジェニ、クララ、パニラ、いまは育児休暇中のベトロネラの6人が活動しています。このアトリエでは、それぞれが自分のスタイルで作品を作ります。お客さんがやってくると、手がいっている人がすぐに対応、そして誰かの作品が売れた場合、売上の一部をアトリエの設備のために共同で使うのです。それぞれが独立しているながら、お互いをサポートし成長していく……そんなすばらしい関係が、アトリエをやさしい空間にしていました。





左上：メタルを加工するための機械は、メンバーが共同で手に入れたもの。左中：先端が細いペンチなどの道具は、細かな加工をするときに使うもの。右上：メタルの表面を磨くための機械。左下：クララーの作業台の上。丸い台の上に置いた、リングをやすりで磨くところ。右下：クララーとジェニのデスクのあいだに置かれた、美しい馬のオブジェはみんなのお気に入り。

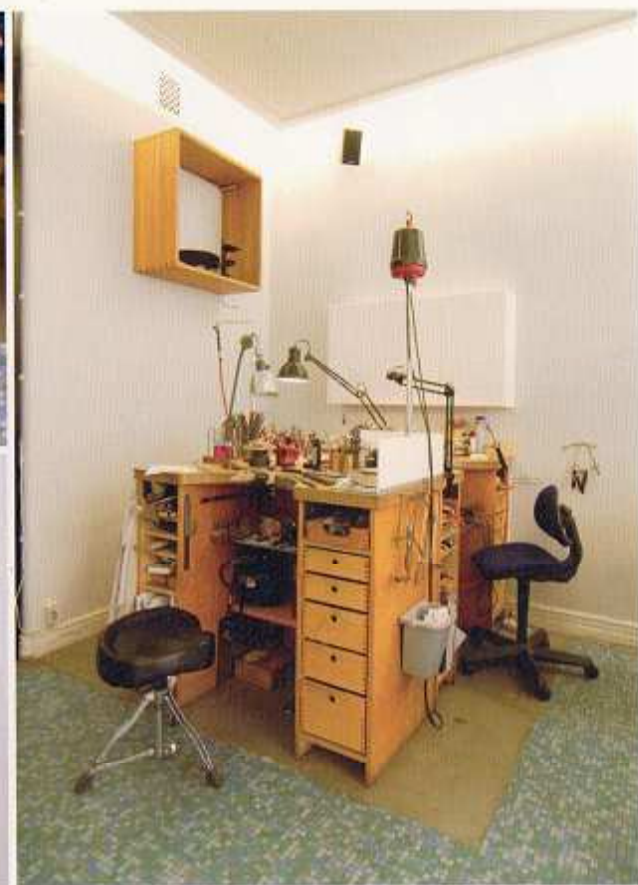


左上：メタルに光沢を与えるために使う道具。左中：店の外にある自転車用通路から入る地下のアトリエ。昔は馬車をひく馬のための小屋として使われていた地下室を、第二の工房として使っている。右上：機械を扱うアトリエに欠かせないのが、救急キット。コンパクトな壁掛け式で、使い方もひとめで分かりやすいデザインになっている。下：ずらりと並んだハンマーは、80本以上！メタルの板を叩いて、形を作る鍛金という加工に必要な道具。





左上：ロッドのアトリエ・ショップの入り口。道を行く人たちがウィンドウを見て入ってきたり、ご近所さんが訪ねてきたり。店内はいつもにぎやか。右上：ショーウィンドウに飾られている、美しいメタルのフラワーベース。左中：自然からインスピレーションを受けることが多いというクララ。左下：機械用のオイル入れ。右下：作業台は、3人ずつ固まってブロックになっている。赤いイスはクララ。黒いイスがジェニ、そして奥はエリックの作業台。



左上：体の大きなトビアスのツールは、みんなと違って少し特別。左中：壁にかけられた道具もオブジェのような。右上：このブロックは手前がトビアス、黒いイスはパニラ、奥がペトロネラの作業台。左下：ジェニの作業台の上では、葉っぱをモチーフにしたイヤリングのパーツを組み合わせているところ。右下：ペルニラがシルバーを加工したボウル。北斎の浮世絵に描かれていた波の泡がイメージソースになったもの。

